



学校だより

学校教育目標

ふるさとの魅力を発見・発信し、次代を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第14号

令和2年10月27日発行

文責 校長 宮地 浩幸

校外学習（吉野ヶ里歴史公園，宇宙科学館）

10月7日（水）朝、少し風は強く吹いていましたが、予定通りに小学生は武雄市の宇宙科学館へ、中学生は、吉野ヶ里歴史公園、小城市へ校外学習に行きました。本年度初めて島を離れて、学習することをとても待ち遠しく思っていた様子が窺えました。コロナ禍において、小学6年生や中学3年生の修学旅行が予定通りに行えなかったため、小学6年生も中学3年生も今回の校外学習に同行しました。

島を離れて学習するのは、もちろん目的に合った学習ができるということも大切なことですが、大きく環境が変わった中で学ぶこともいろいろあると考えます。例えば、先日、交通安全教室や防犯教室を行いました。島の中では、車の数が少なかったり、自転車を使うことが無かったり、電車に乗ることが無いので勉強をしても実践できる環境にないことが多々あります。今回の学習では電車に乗ることで公共交通機関での社会的なマナーや多くの人を訪れる宇宙科学館や吉野ヶ里歴史公園での公衆道徳やコロナ禍での感染予防についても実感できたのではないかと期待します。



子ども達の感想から

・ピタゴラススイッチがとてもおもしろかったです。たまがぐるぐるまわってゴールにたどりつくところがおもしろかったです。…こんどはかぞくみんなでいきたいです。

・あしでこいでタイヤをまわすゲームがとてもおもしろかったです。ジェットコースターもとてもおもしろかったです。またいきたいです。

・プラネタリウムを見て、習った星や星ざを見て考えながらみれてよかったです。そしてまだ習っていない星や星ざもみれてよかったです。

・プラネタリウムなどを見て、今の季節にはどんな星や星座が見えるかなどがわかりました。武雄図書館では…秘密基地みたいなところがあったりして、小さな子供でも楽しめるようにいろいろな工夫をしているんだろうなと思いました。

・吉野ヶ里に行くのは初めてだったので竪穴住居など建物のリアルさに驚きました。竪穴住居や王の家に入ったり、物見やぐらに上がったりと弥生時代にタイムスリップした感じでした。実際に肌で感じれてよかったですと思います。

・勾玉づくりをしました。…コンクリートの石で削っていくとすぐに形ができ、「簡単だな」と思いました。しかし、昔は…石を切る道具がないので、どうやって勾玉を作っていたのだろうと疑問に思いました。



子ども達の感想を読むと、しっかり学習できていると実感できました。

堤先生の話（ほんわかタイム）

10月13日（火）の朝、恒例のほんわかタイムを行いました。今回は堤先生にお話をしてもらいました。題名は「大切にしていること」です。2016年4月14日、4月16日に熊本県を大きな地震が襲いました。その時堤先生は、熊本県に居たそうです。被災をされたわけですが、比較的被害が少ない場所であったようで、「自分は今何をすべきか。」と考えた末に、困っている人たちを助けなければとボランティアを頑張ったそうです。その中で、被災された人たちから、温かい感謝の言葉をかけられ、そのことをとても大切にしているということでした。「緊急事態の時は人のありがたさが身に染みて温かく感じる。恩送りをしてほしい。」と子ども達に訴えられました。人にやさしくすると必ず最後は自分に戻ってくる。先日ふるさとに恩返しの話をしましたが、「恩送り」とても大切なことだと思いました。



防煙教室

10月12日に、小学校6年生、中学校1年生を対象に防煙教室を実施しました。講師は診療所の池内先生です。もちろん防煙教室は、未成年者の喫煙防止のために行います。成長が盛んな時期は、細胞分裂が激しく、外部の刺激を受けやすくなります。だから、この時期の喫煙は健康被害が現れやすくなります。振り返りのための児童生徒の作文を見ると「病気になるやすい」「勧められても断わる」などの言葉が出てきました。池内先生の話をもっと真剣に受け止めて考えている様子が窺えました。

ところで、日本には、未成年者喫煙禁止法があるものの、実際には、未成年者がタバコを吸いやすい環境や未成年者をタバコに誘う環境があふれており、かなりの率の未成年者が喫煙をしています。本校には当てはまらないことだと思いますが、自己の健康は自分で管理することが最も大切です。



生物多様性

「生物多様性」とは、いろんな生きものが、いろんな自然の中に暮らし、お互いがつながっていることです。生物たちは、自然環境に適応するようにいろいろ変化してきました。そしていろいろな生物たちがそれぞれの役割を果たし自然が永続的に存在できるようになっています。これと似たように私たちの社会もいろいろな人たちの相互の良好な関係において成り立っていると思います。人権・同和教育の中でも「ダイバーシティ」という言葉が良く使われます。これも多様性と訳すのですが、「みんな違ってみんないい」という考え方です。子ども達がそれぞれ個性を活かして未来社会の担い手になって欲しいと思います。